

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 5 月 14 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村弘仁

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
宮崎県幸島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
幸島実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2019年 5月 7日 ~ 2019年 5月 13日 (7日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学野生動物研究センター附属幸島観察所
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の渡航では、幸島に生息する野生のニホンザルの観察を行った。妊娠メスと妊娠していないメスを個体追跡し、採食時間及び得られた食物の量を比較した。 今回の調査の結果、妊娠しているメスは妊娠していないメスに比べて長い時間を採食に費やし、より少ない時間をグルーミングに費やしていた。麦が給餌される浜でも妊娠メスはより長い時間を採食に費やしていたが、得られた麦の量は妊娠していないメスと差がなかった。よって、採食時間を長くする戦略は浜では効果的でないと考えられた。 今後の予定としては、結果を報告書としてまとめる予定である。

図1. 麦を食べる幸島のニホンザル
※メンター (PWS プログラム指導教員) が確認済の報告書を【report@wildlife-science.org】宛にご提出ください。
6. その他 (特記事項など)